

# ATENAフォーラム 2021

日時 2021年 **2月18日** (木) 16:00 ~ 18:00

開催形式 ZOOM Webinar を利用したオンライン開催

## プログラム

(敬称略)

開会挨拶 門上 英 ATENA 理事長

来賓挨拶 山中 伸介 原子力規制委員会 委員

ATENA 活動報告 門上 英 ATENA 理事長

基調講演 海外有識者からのビデオレター

マリア・コースズニック 米国原子力エネルギー協会 (NEI) 会長

リチャード・A・メザーブ 電力中央研究所原子力リスク研究センター 顧問

ジョージ・アポストラキス 電力中央研究所原子力リスク研究センター 所長

ウィリアム・E・ウェブスター・ジュニア 原子力安全推進協会 会長

パネルディスカッション

【テーマ】 安全性向上に向けた諸機関の活動 ～現状と課題～

【モデレータ】 遠藤 典子 慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート 特任教授

【パネリスト】 加藤 顕彦 日本電機工業会 原子力政策委員会 委員長

倉田 千代治 電気事業連合会 原子力開発対策委員会 委員長

近藤 寛子 東京大学大学院工学系研究科 学術支援専門職員

山崎 広美 原子力安全推進協会 理事長

玉川 宏一 ATENA 理事

閉会挨拶 玉川 宏一 ATENA 理事

※日英同時通訳有り※

来賓挨拶



山中 伸介

原子力規制委員会  
委員

1989年11月工学博士修得。大阪大学で、原子炉重大事故に関連した燃料の安全性研究など一貫して原子力工学、核燃料工学・材料分野の研究に取り組み、同分野で第一人者として活躍。原子力規制委員会核燃料安全専門審査会審査委員、原子力規制委員会バックエンド技術評価検討会委員、文部科学省原子力システム研究開発事業プログラムオフィサー等として、原子力規制及び原子力の研究に貢献。2017年9月より原子力規制委員会の委員に就任。

基調講演



マリア・コーズニック

米国原子力エネルギー協会  
(Nuclear Energy Institute)  
会長

メリランド大学の原子力工学学士号を取得。1986年Constellation Energy Nuclear Groupにおいてキャリアをスタート、最高原子力責任者(CNO)およびCEO代理に就任。続いて、Exelon社では北東地区のCalvert Cliffs 1 and 2、R.E. Ginna、Nine Mile Point 1 and 2の原子力発電所を監督する副社長を務め、その後、NEIの会長兼CEOに就任。現在はNEIの会長として、原子炉運転の実務経験、およびエネルギー政策と規制の問題に関する深い知識を活用して、原子力エネルギーの経済的および環境的利点について政策立案者と国民の理解を深めることを目指している。



リチャード・A・メザーブ

電力中央研究所  
原子力リスク研究センター  
顧問

1976年スタンフォード大学の応用物理博士号を取得。1999-2003年米国原子力規制委員会(NRC)委員長。2004年よりIAEA国際原子力安全諮問グループ(INSAG)議長、2012年12月より原子力規制委員会国際アドバイザー、2014年10月より電力中央研究所原子力リスク研究センターの顧問に就任。2016年旭日重光章を受章。

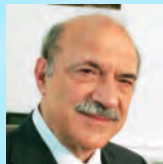
ATENA 活動報告



門上 英

原子力エネルギー協議会  
理事長

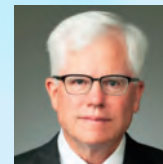
1978年九州大学大学院応用原子力工学専攻卒。1978年三菱重工業株式会社入社。神戸造船所副所長及びエネルギー・環境ドメイン原子力事業本部事業副事業部長兼神戸造船所所長を経て、2014年に常務執行役員、エネルギー・環境ドメイン原子力事業部長、2017年に常務執行役員、パワードメイン原子力事業部長に就任。2018年7月より原子力エネルギー協議会の理事長に就任。



ジョージ・アポストラキス

電力中央研究所  
原子力リスク研究センター  
所長

1973年カリフォルニア工科大学の工学・応用数学博士号を取得。カリフォルニア大学ロサンゼルス校にて20年、原子力科学工学科の教授として務め、その後はマサチューセッツ工科大学の教授として15年務めた。2010-2014年米国原子力規制委員会(NRC)委員。2010年よりマサチューセッツ工科大学名誉教授。2014年10月より電力中央研究所原子力リスク研究センターの所長に就任。



ウィリアム・E・ウェブスター・ジュニア

一般社団法人  
原子力安全推進協会  
会長

米国ヴィラノーヴァ大学にて土木工学の学士号を取得後、米国海軍の原子力潜水艦部隊に入隊。1982年より米国原子力発電連協会(INPO)でのキャリアをスタートさせた。130回以上の米国発電所及び本店ピアレビューを経験した後2013年エグゼクティブ・バイス・プレジデントに就任、2016年にINPOを退職。現在はDuke Energy社の社外取締役、Exelon Generation社のNSRB議長などを兼任。2017年1月、原子力安全推進協会(JANSI)のエグゼクティブアドバイザーとして活動を開始し、2018年より同協会会長を務める。

パネルディスカッション



遠藤 典子

慶應義塾大学グローバルリサーチ  
インスティテュート  
特任教授

京都大学大学院エネルギー科学研究科博士課程修了。博士(エネルギー科学)。専門はエネルギー政策、リスク・セキュリティガバナンス。経済誌副編集長などを経て現職、研究・教育活動に従事。研究事業の一環として、エネルギー・環境問題に関する女性有識者会議を創設、運営している。著書『原子力損害賠償制度の研究—東京電力福島原発事故からの考察』(岩波書店)で第14回大佛次郎論壇賞を受賞。財政制度等審議会、総合資源エネルギー調査会電力・ガス事業分科会原子力小委員会など委員。



加藤 顕彦

一般社団法人 日本電機工業会  
原子力政策委員会 委員長(三菱重工業  
常務執行役員 原子力セグメント長)

1984年九州大学大学院エネルギー変換工学専攻卒、三菱重工業株式会社入社。2008年同社神戸造船所原子力保全技術部長、2011年原子力事業本部軽水炉プロジェクト部主幹技師、原子力事業本部安全高度化対策推進室長、2014年原子力事業部事業部長代理、2017年原子力事業部副事業部長、2018年4月執行役員原子力事業部長を経て、2020年4月常務執行役員原子力セグメント長(現職)。2019年7月より一般社団法人日本電機工業会原子力政策委員会委員長に就任。



倉田 千代治

電気事業連合会 原子力開発対策委員会  
委員長(中部電力 代表取締役  
副社長執行役員 原子力本部長)

1980年東京大学大学院工学系研究科船用機械工学専門課程修了、中部電力株式会社入社。1999年三重支店松阪営業所長、2004年浜岡原子力総合事務所浜岡原子力発電所保修部長、2007年浜岡原子力総合事務所浜岡地域事務所総括・広報グループ部長、2008年執行役員浜岡原子力総合事務所浜岡地域事務所長、2014年専務執行役員浜岡原子力総合事務所長を経て、2018年4月代表取締役副社長執行役員原子力本部長(現職)。2019年10月より電気事業連合会原子力開発対策委員会委員長に就任。



近藤 寛子

東京大学大学院工学系研究科  
学術支援専門職員

アルコアアジア、日本IBM(旧PwC, IBCS)社でのマネージングコンサルタント、アクセントゥアでのシニアプリンシパルを経て、2015年より独立系コンサルタントに。20年以上にわたるインフラ産業の事業コンサルティングに従事。東京大学大学院工学系研究科学術支援専門職員、合同会社マトリクスK代表、日本原子力学会原子力安全部会「新検査制度の効果的な実施に関する検討ワーキンググループ」主査を兼任。



山崎 広美

一般社団法人 原子力安全推進協会  
理事長

1978年東京大学工学部産業機械工学科卒、中部電力株式会社入社。2001年原子力計画部建設グループ部長、2005年浜岡原子力総合事務所浜岡原子力発電所技術部長、2007年執行役員・環境・立地本部環境部長、2011年取締役専務執行役員・環境・立地本部長兼原子力本部付を経て、2016年2月一般社団法人原子力安全推進協会 執行役員理事長代行に就任。2018年6月より現職。



玉川 宏一

原子力エネルギー協議会  
理事長

1976年立命館大学理工学部卒、四国電力株式会社入社。2009年同社原子力本部 原子力部長、2011年常務執行役員 原子力本部副本部長 伊方発電所長、2014年常務取締役 原子力本部副本部長、2016年取締役副社長 原子力本部長を経て、2019年6月同社顧問。2019年11月より原子力エネルギー協議会の理事に就任。